

あんしんできる・しんらいできる・たよれる介護サービスをめざして

福介協だより

あしたの介護

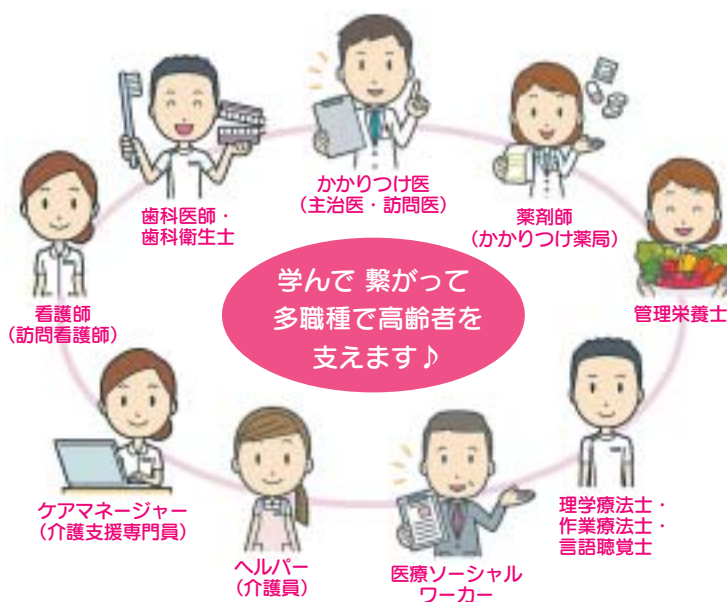
2021.3
vol.38

福岡市介護保険事業者協議会とは・・・

2000年にスタートした介護保険制度ですが、早くも20年が経過し、その間に高齢化の進展、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズはますます増大しております。また、核家族化の進行、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も困難さを増しております。これに伴い、様々なサービスが新設されておりますが、ご利用いただく方々へのこれら各種サービスについての介護保険事業者からの適切な周知・説明、提供が重要になってきております。

福岡市介護保険事業者協議会では、介護サービスの種類を問わず、多くの福岡市内の事業所間のネットワーク構築に努めながら、より良い介護サービスの提供を目指して、ニーズに即した研修会やセミナー、講演会を開催しております。また、新たな取組として、介護サービスを担うことの魅力を感じていただくことで就労へつなげることを目的に、「介護の職場見学ツアー」を行っており、学生さんだけではなく、社会人の方にも介護サービスに関心を持っていただきたく、広くお声かけをし実施しております。

今後とも、益々進展していく社会状況への対応を図り、より一層、市民の信頼や期待に十分応え得る質の高い公正で適切な介護サービスの提供を目指して、各種事業を実施してまいります。



介護保険事業者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態に直面しているなか、通常でも心配が必要なお仕事ですが、新型コロナウイルス感染症防止のためにより一層の細心の注意が求められております。

感染リスクという不安がある中で、支援を必要とする利用者並びにそのご家族と向き合い、支えてくださっている全ての職員の方々の日々のご努力に心より感謝申し上げます。

また、私どもは、支援を必要としている方々のために、今後とも引き続き、事業を安定して実施していくことが求められております。たいへん厳しい日々がまだまだ続きますが、皆様方とともに最善を尽くし、この難局を乗り越えてまいりましょう。



皆さんの笑顔を見るとほっとするとよ♪
いつもありがとうね。そしてこれからも
よろしくお願いします。♪



福祉用具のご紹介 ～福祉用具を

私たち日本人はお風呂好きの方がとても多いです。毎日の暮らしの中での楽しみのひととして浴槽入浴は清潔を保つためだけではなく、温まり、心身をリラックスさせてくしかし、浴室は床が滑りやすく、また浴槽へのまたぎ動作など不安定な姿勢を取るこ今回は、入浴動作の負担を軽くしてくれ、快適に入浴を楽しむための補助をしてくれ

浴室手すりマスカットポールタイプのご案内

浴室のイスから立ち上がる時や浴槽縁をまたぐ時に何かつかまる物があればと思った事はございこちらの商品マスカットポールタイプは天井・浴槽縁・床の三点で支えてしっかりと固定するたまたぎが出来ます。浴槽の縁が厚く曲線があっても幅広く対応できます。

介護保険購入対象品ですので、介護認定を受けている方でしたら通常金額の1～3割の負担で購また設置などは福祉用具販売業者が対応してくれますのでお気軽にケアマネージャーや福祉用具してください。

※介護保険福祉用具購入対象品なので介護認定者の方は1～3割負担で購入可能です。

マスカットポールタイプの特長

安全 ポールを天井・浴槽縁・床の三点で支えており、引っ張りに対して各部が力を分散し、しっ

安心 ポールを設置することで浴槽からの出入りの際、低い位置から高い位置まで利用者の体勢に

快適 ポールを設置することで洗い場からの立ち上がりや、浴槽にかがまないで側方またぎや正面

設置実例



(幅広浴槽)



(お椀型浴槽)

使って安全に入浴しましょう～



とつでもあります。
れます。
とも多いため、転倒などの事故が心配される場所でもあります。
る福祉用具をご紹介します。

ませんか！？
め、安心して立ち上がり、
入できます。
販売業者にご相談



側方またぎ



正面またぎ



イスからの立ち座り

かりと固定ができます。

合ったつかまり方ができます。

またぎができ、安定した出入りができます。

メーカー希望小売価格：39,000円（税別）

※介護保険福祉用具購入対象品です。介護認定者の方は1～3割負担で購入可能です。

《製造元/販売元》 DIPPERホクメイ株式会社

製品紹介URL：http://www.dipper-hokumei.co.jp/products/muscat/pole_standard.html

《情 報 提 供》 セピア商事株式会社 福祉機器事業部 斎藤 智也 ☎092-482-3030

《展 示》 福岡市介護実習普及センター 福祉用具展示場 ☎092-731-8100

～ 福岡市からのお知らせ ～

福岡市では、ICT（情報通信技術）を活用しながら、高齢者のご家族が安心して住み慣れた地域で生活できる取組みを進めています。

福岡100
人生100年時代への
チャレンジ

福岡市在宅連携支援システム「ケアノート」

要支援・要介護高齢者のご家族や、医療・介護関係者（かかりつけ医、ケアマネジャー、ヘルパー等）が、パソコンやスマートフォン等で、高齢者ご本人に関する情報を本人同意のもと共有するシステムです。行政からの介護保険情報が掲載されるほか、ご家族、医療・介護関係者が保有する情報を提供・共有し合うことで、ご本人の状況に応じたサービスが適時受けられるとともに、ご家族の安心、医療・介護関係者の負担の軽減が図れます。利用料は無料です。



詳しくはホームページをご覧ください。

ケアノート

検索

ケアノート
ホームページ
はこちら ➡



福岡市保険外サービス情報提供サイト「ケアインフォ」

高齢者の生きがいづくりや快適な生活を支援するため、市内の事業者が提供する様々な介護保険外サービス（自費）の情報を提供する WEB サイトです。お住まいの地域と必要なサービスを選択するだけで、簡単に検索することができます。困りごとの解消や日常生活の手助けに、ぜひご利用ください。

介護保険外サービスの例（サービスの利用や登録の際は、サービス料金等を十分ご確認ください。）



事業者様からの
新規掲載も受付中。
掲載料は一切不要です。

詳しくはホームページをご覧ください。

ケアインフォ

検索

ケアインフォ
ホームページ
はこちら ➡



ケアノート／ケアインフォのお問合せはこちら

福岡市 保健福祉局 総務企画部 政策推進課 電話: 092-733-5343 FAX: 092-733-5587



ケアノートの感想

～ご利用されている事業者へ聞いてみました～



ケアノートを事業所に導入して2年ほど経過しましたが、使っている部分は主に本人情報の部分で介護保険証の情報や主治医意見書の確認を行っています。

以前のように、介護保険の更新や区分変更の際、ご家族に依頼して役所に電話で確認してもらうようなこともなく、主治医意見書も事業所内ですぐに確認でき業務の効率が上がったと感じています。ただ、ケアメモやバイタル、文書ポストは使用したことがなく、いま一つ使い方を理解できていません。

情報共有でのサービスの質的向上も目的でいらっしゃると思うので、当事業所も含め多職種が必要な情報を必要時に共有できるようなバージョンアップや使い方の簡素化を期待しています。

(ケアセンターめおといわ)

令和2年10月から、ケアノートを利用させていただいております。今までは認定情報等を確認するのに数日かかっていましたが、ケアノートを利用する事で、認定情報等すぐに確認することができています。ケアプラン作成などスムーズに取り掛かる事ができ、とても助かっています。多職種の方々にもケアノートが普及すれば、情報共有がパソコン上で行え、便利になると思います。

ケアノートを令和2年11月に登録させていただき活用しています。現在はまだ認定情報の確認のためのアクセスしかありませんが、それでもかなりの業務負担改善になっています。今後はこのシステムで医療・介護・福祉の各専門職機関とスムーズな連携を行い、ご利用者に必要な支援がタイムリーに提供できますように役立てたいです。

(花畑ホームケアプランサービス)

ケアノートを使用させていただいております。今まで役所に書類を取りに行っていましたが、ケアノートが出来、ケアマネの仕事がスムーズになりました。また、認定進行情報や結果がわかるので、とても助かっています。心より感謝申し上げます。他の事業所が認定結果を見られるのもいいと思います。

(介護支援専門員)

現在の利用状況としては、受け持ち利用者様には必ず同意を頂き、本人情報のみ活用しています。介護保険情報や資料閲覧を日々の業務に役立てています。

しかし、機能の3/4（ケアメモ・バイタル・文書ポスト）は使用できていません。それは、現在の受け持ち利用者様の関係事業所に関して、ケアノートに参加している事業所がないのが現状であり、そのために投稿もしていません。

今後、参加する事業所が増えること、別の支援ソフトの連携があれば、さらに業務に活用ができると思われます。

(テポーレケアプランサービス)



令和2年度事業実施報告

居宅介護支援部会



居宅介護支援部会は、令和2年度に企画いたしました4回の研修のうち第3回研修会「援助力が高まる事例検討の実践」を新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令を受け延期いたしました。既にお申込みいただいております方々には大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

第1回は「高齢者への虐待防止・身体拘束について」をテーマに、岩城法律事務所弁護士 岩城 和代 氏に基礎知識、身体拘束禁止の法的根拠など、事例をとおしてわかりやすく講義いただきました。参加者からは「記録の大切さをあらためて感じた」「公の機関の介入を拒む家族は経済的虐待が疑わしい」等、感想をいただきました。

第2回は「苦情対応研修～ご利用者・ご家族との対等なコミュニケーションとは～」をテーマに、一般社団法人こころ塾 代表理事 内木場 三保 氏に「対等な関係性」を構築することの意味を一緒に考えました。苦情を生まない日常の工夫、苦情を生む課題を特定し、苦情対応に活用するコミュニケーションの手法を学びました。参加者からは「自分の正すべき癖や対応が明確になった」「苦情とクレームの違い、対応方法の違いを理解できた」等、感想をいただきました。

第4回は面接技術研修「解決構築の面接技法～一歩後ろからリードする～」をテーマに、医療法人武田内科 医療相談室長 / 日本医療ソーシャルワーク学会 副会長 大垣 京子 氏にご講義いただきました。事例を基に利用者やご家族との関わり方や面接技法を学びました。

未だ新型コロナウイルス感染症の蔓延により厳しい状況下にあります。令和3年度は、皆様の業務に活かし、さらに質の向上に資する研修を企画しております。皆様のご参加、ご意見をお待ちしております。

(一般社団法人福岡市医師会 高橋)



第1回研修会



第2回研修会

在宅サービス部会



令和2年度、在宅サービス部会では4回の研修を計画・実施いたしました。

第1回研修会は9月11日に、「自立支援型サービス これからの介護サービスに求められる視点」～選ばれる事業所をめざして～ のテーマで日本赤十字社 今津赤十字病院の理学療法士 白石 浩 氏よりご講演いただき14名が参加されました。「自立支援という観点の中で、自己実現、自己決定がとても大切であることを改めて考えさせられた。」「今後はより詳細で具体的なイメージしやすい目標設定をしていきたい。」との感想をいただきました。

第2回研修会は10月13日に、「多機関協働による精神障がい者への支援について」～精神科病院における退院支援の現状から学ぶ～ のテーマで医療法人浜江堂油山病院 地域医療連携部の精神保健福祉士 内野 秀雄 氏よりご講演いただき24名が参加されました。「退院支援の現状(問題点も含めて)良く分かった。」との感想をいただきました。

第3回研修会は11月12日に、「在宅医療介護連携～高齢者の安全な服薬管理について～」のテーマで福岡市早良区薬剤師会 在宅・介護理事 / 緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師 / 日本在宅薬学会 在宅療養支援薬剤師の 江口 真理子 氏よりご講演いただき16名が参加されました。「薬剤師の役割や、ケアマネジャーとの連携の大切さとかかわり方がわかった。」「薬剤師さんが地域連携に力を入れている事が理解できた。」との感想をいただきました。

2月26日に開催予定の第4回研修会「救命講習会」は新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令により中止いたしました。既にお申込みをいただいております皆様には大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

令和3年度の研修事業におきましても、会員の皆様のご意見、ご要望に沿った内容を企画していきたいと考えております。

(医療法人浜江堂 江原)



第1回研修会



第2回研修会

施設サービス部会



令和2年度は3回の研修を実施致しました。

第1回は、「介護技術研修～移動・移乗～」をテーマに株式会社大起エンゼルヘルプ 介護事業部事業部長補佐 / 理学療法士 田中 義行 氏にご講義いただきました。参加者からは「上肢・下肢の開き方など、まさに悩んでいた内容だったので大変参考になった。」等の感想をいただきました。

第2回は、「高齢者の口腔ケアについて」をテーマに日本歯科衛生士会口腔健康管理常務理事 / 福岡県歯科衛生士会専務理事 久保山 裕子 氏にご講義いただきました。「口腔ケアの大切さや道具の選び方、口腔ケアの仕方などがわかり、早速明日からやってみたいと思った。」等の感想をいただきました。

第3回は、「介護施設での労務管理と取組みについて」をテーマに社会保険労務士法人後藤労務管理事務所 社会保険労務士 後藤 昭文 氏、事例発表者で社会福祉法人敬愛園 アットホーム福岡 施設長 大坪 強 氏にご講義いただきました。「今の制度について、また今後の制度について知ることができた。」等の感想をいただきました。

今年度はコロナ禍ではありましたが、会員の皆様のご参加をいただきありがとうございました。感染対策のため講義スタイルとし、より多くの知識を得ることができる研修となりました。次年度も皆様のご意見やご要望を参考にしながら、多くの方に参加していただける研修を実施していきたいと思ひます。

(社会福祉法人今山会 塩田)



第1回研修会



第3回研修会

サービスの質向上委員会



令和2年度は4回の研修を企画し2回実施しております。

第1回は、新人職員研修を2部に分けて令和2年11月20日に実施しました。第1部『介護保険制度の基礎知識と記録の書き方』の内容で社会福祉法人恵徳会 まほろばの里なの国土居 孝男 氏にご講義頂き、第2部『新人向け実技研修～介護される方の気持ちを体験しよう～』の内容で社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会 作業療法士 八尋 雅子 氏にご講義頂き研修を実施しました。第1部では、具体的でとても良かった。記録の書き方がよく分かった。第2部では、今までよりも効率の良い体位変換の方法が学べた。利用者さんの気持ちがよく分かった。等の感想を頂きました。

第2回は、中堅職員研修を令和2年12月16日に実施しました。『アンガーマネジメント研修』の内容で産業カウンセラー 原 摩利香 氏にご講義頂きました。自分自身の怒りについて客観的に見ることで学べた。自身のタイプがわかり、今後対応していけそうだ。怒りはトレーニングによってコントロールでき改善できる。などの感想を頂きました。

第3回の「手軽に使用できる福祉用具を知ろう」、第4回「入浴介助について」も予定しておりましたが、コロナ禍の中グループワークが行えないことや緊急事態宣言下といった理由により、残念ながら中止いたしました。既にお申込みをいただいております皆様には大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

そのような状況の中、各研修に多数の会員の皆様のご参加を頂き、意義ある研修を行うことができました。

来年度も皆様のご意見ご要望を参考にしながら、更なるサービスの質の向上を目的とした研修を企画し実施していきたいと思ひます。

(医療法人ながら医院 毛利)



第1回 第2部研修会



第2回研修会

令和2年度 事業一覧

1 総会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
総 会 (書 面 表 決)	6月30日(火) 議決権行使期限	令和元年度事業実績・決算 令和2年度事業計画・予算(案) 役員変更(案) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講演会・交流会は中止とした。	

2 委員会

(1) 代表者セミナー等企画委員会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
介護の職場 見学ツアー	◆中 止	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
代表者セミナー	◆中 止	【事業者向け公開講座】 「事業主のための助成金のご紹介について」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	村里 男樹 氏 (福岡社会保険労務士法人 統括部長/社会保険労務士)

(2) サービスの質向上委員会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	11月20日(金) 【第1部】 【第2部】	【新人職員研修】 第1部「介護保険制度の基礎知識と記録の書き方」 第2部「新人向け実技研修～介護される方の気持ちを体験しよう～」	土居 孝男 氏 (社会福祉法人恵徳会 まほろばの里なの国 管理者) 八尋 雅子 氏 (社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会 作業療法士)
第2回研修会	12月16日(水)	中堅職員研修 「アンガーマネジメント研修」	原 摩利香 氏(産業カウンセラー)
第3回研修会	◆中 止	「手軽に使用できる福祉用具を知ろう」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	八尋 雅子 氏 (社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会 作業療法士)
第4回研修会	◆中 止	「入浴介助について」※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	

(3) 会員ネットワーク委員会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第37号情報誌	9月	A4 4ページ 4色刷 5,000冊	
会員のつどい	◆中 止	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
第38号情報誌	3月	A4 8ページ 4色刷 5,000冊	

3 部 会

(1) 居宅介護支援部会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	12月22日(火)	「高齢者への虐待防止・身体拘束について」	岩城 和代 氏(岩城法律事務所 弁護士)
第2回研修会	1月14日(木)	「苦情対応研修～ご利用者・ご家族との対等なコミュニケーションとは～」	内木場 三保 氏(一般社団法人こころ塾 代表理事)
第3回研修会	◆中 止	「援助力が高まる事例検討の実践」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	白木 裕子 氏(日本ケアマネジメント学会 副理事長/株式会社フジケア 代表取締役社長)
第4回研修会	3月18日(木)	面接技術研修 「解決構築の面接技法～一歩後からリードする～」	大垣 京子 氏(医療法人武田内科 医療相談室長/ 日本医療ソーシャルワーカー学会 副会長)

(2) 在宅サービス部会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	9月11日(金)	「自立支援型サービス これからの介護サービスに求められている視点」 ～選ばれる事業所をめざして～	白石 浩 氏 (日本赤十字社今津日赤病院 理学療法士)
第2回研修会	10月13日(火)	「多機関協働による精神障がい者への支援について」 ～精神科病院における退院支援の現状から学ぶ～	内野 秀雄 氏 (医療法人浜江堂油山病院 地域医療連携部 地域医療連携課長・精神保健福祉士)
第3回研修会	11月12日(木)	「在宅医療介護連携～高齢者の安全な服薬管理について～」	江口 真理子 氏 (福岡市早良区薬剤師会 在宅・介護理事/緩和医療 学会緩和医療療法認定薬剤師/日本在宅薬学会 在宅療養支援薬剤師)
第4回研修会	◆中 止	「救命講習会」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	福岡市消防局

(3) 施設サービス部会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	9月18日(金)	「介護技術研修～移動・移乗～」	田中 義行 氏(株式会社大超エンゼルヘルプ 介護事業部 事業部長補佐・理学療法士)
第2回研修会	12月18日(金)	「高齢者の口腔ケアについて」	久保山 裕子 氏(日本歯科衛生士会 口腔健康管理常務理事/福岡県歯科衛生士会 専務理事)
第3回研修会	3月11日(木)	「介護施設での労務管理と取組みについて」	講師:後藤 昭文 氏(社会保険労務士法人 後藤労務管理事務所 社会保険労務士) 事例発表者:大坪 強 氏 (社会福祉法人敬愛園 アットホーム福岡 施設長)

編集 後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されて、人々の生活様式が大きく変わりました。新型コロナウイルスのパンデミックで考えさせられたのは、自分の大事な家族や友人、職場の同僚や利用者様などを守るために、自分がどう行動をすべきか、ということでした。今後は新型コロナウイルスと上手につき合っていく社会を構築していく必要があります。まだまだ明確な収束の道筋は見えてきておりませんが、感染を予防するためにそれぞれが考え行動する事により、収束への道筋は見えてくると思います。人類はこれまでも様々な脅威に直面し、それらと向き合い成長し進化を遂げてきました。また穏やかな日常を取り戻せるように、まずは日頃の感染予防をしっかりと心掛けていきたいと思います。(医療法人永寿会 梶原)

発行元 福岡市介護保険事業者協議会 会員ネットワーク委員会
発行日 令和3年3月
お問い合わせ先 福岡市介護保険事業者協議会事務局【(社福)ふくおか福祉サービス協会 介護支援課内】
TEL 092-761-0883 FAX 092-761-0877 <http://www.fukukaikyou.gr.jp>

※ 部数が足りない事業所にはお送りしますので、事務局までご連絡ください。